

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	再発胃癌における CA125 動態と Post-recurrence Survival
	研究対象者	2012 年 1 月から 2022 年 12 月の間に神奈川県立がんセンターで、切除できる胃癌に対してしっかりと根治的に胃癌を切除した患者さんのうち、再発をきたした方。 そのうち 1.残胃癌で手術後の方 2.血液検査データから必要な腫瘍マーカーを抽出できなかった方 3.必要な腫瘍マーカーのうち、基準値を上回った方。 を対象者から除外いたします。
	研究目的	がんは手術後に再発することがあり、その後の経過を予測することが重要です。本研究では、血液検査で使われる CA125 という値に注目し、再発時に正常範囲内であっても、初診時からの変化の仕方が予後に関係しているかを調べることを目的としました。従来のように「正常か異常か」だけでなく、変化に着目することで、より正確な予後評価につながるかを明らかにしようとしています。
	研究方法	当センターに残されているカルテから得られる情報のみを研究対象としています。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所、ID などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。データは USB へ保存し、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西 暦 2 0 2 6 年 5 月 2 5 ～ 西 暦 2 0 2 7 年 3 月 3 1 日
	利用又は提供を開始する時期	[<input checked="" type="checkbox"/>]総長が研究実施を許可した日 [<input type="checkbox"/>]西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[<input type="checkbox"/>]試料:	[<input type="checkbox"/>]血漿、[<input type="checkbox"/>]血清、[<input type="checkbox"/>]全血、[<input type="checkbox"/>]末梢血から抽出した DNA、 [<input type="checkbox"/>]病理検体(具体的に記載:_____）、 [<input type="checkbox"/>]尿、[<input type="checkbox"/>]糞便、[<input type="checkbox"/>]唾液、[<input type="checkbox"/>]胸水、[<input type="checkbox"/>]腹水、[<input type="checkbox"/>]脳脊髄液、 [<input type="checkbox"/>]毛髪、[<input type="checkbox"/>]その他(具体的に記載:_____)
	[<input checked="" type="checkbox"/>]情報:	[<input checked="" type="checkbox"/>]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[<input checked="" type="checkbox"/>]年齢、[<input type="checkbox"/>]生年月日、[<input checked="" type="checkbox"/>]性別、 [<input checked="" type="checkbox"/>]既往歴、[<input checked="" type="checkbox"/>]併存疾患、[<input checked="" type="checkbox"/>]外来日・入院日・退院日、[<input checked="" type="checkbox"/>]臨床検査値、[<input checked="" type="checkbox"/>]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[<input checked="" type="checkbox"/>]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[<input type="checkbox"/>]ゲノムデータ、[<input type="checkbox"/>]看護記録、[<input type="checkbox"/>]その他(具体的に記載:_____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	胃食道外科 秋元規宏
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター胃食道外科 秋元規宏 連絡先：045-520-2222 利用停止のお申し出は 2026 年 12 月 31 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	